

熱田神宮へ大鏡餅を奉納します！

取材対応：12月30日（月）AM8：30～

熱田神宮豊年講岡崎支部は12月30日（月）、熱田神宮に大鏡餅5俵（重量300kg／二段重ね）を奉納します。当日は同支部講員やJA関係者など総勢96名が参加し、持ち込んだ大鏡餅の飾り付けを行い、宝物殿から本殿までの概ね250mを32名の担ぎ手により練り歩きます。

熱田神宮豊年講は、愛知県下の篤農家が相寄って農作物の増産に励むとともに、五穀豊穡を願うことを目的として、熱田神宮の御神徳を仰ぎ、「大神さまのお供えは我々の手で」を合言葉に集結され、1949年に発足しました。同支部は105人で構成しています。

大鏡餅奉納は、その年の豊作に感謝し新しい年の豊作を祈願するために、毎年、県下にある同講9支部が持ち回りで行う神事です。1972年からは、5俵の餅米を使った大鏡餅を熱田神宮に奉納するようになり、2015年以来9年ぶりに同支部が担当します。大鏡餅は、10日（金）に鏡開きが行われます。



取材対応

日時：令和6年12月30日（月）AM8：30～

会場：熱田神宮（名古屋市熱田区神宮1丁目1-1）



<お問い合わせ> **取材対応につきましては予めご連絡ください。**

J A あいち三河 総合企画部企画広報課（担当：岡田）Tel：0564-55-3034

E-mail：kouhou@ja-aichimikawa.or.jp

※この情報は、JAグループ愛知記者会、岡崎市政記者クラブにおいてプレスリリースしています。